

# 稚児池湿原 ちごいけしつげん

町指定天然記念物



指定 / 1976年（昭和51年）10月30日

面積 / 約5.6ha（56,000㎡）

所在 / 志賀高原 焼額山

稚児池湿原は志賀高原の焼額山山頂、標高2,009mに位置しする高層湿原です。旧火口湖として形成されたかは定かではありませんが、山頂には澄んだ水の稚児池が存在します。稚児池には流入する川はなく、底に厚く蓄積された泥炭ふとうすいそうが不透水層（水を通さない火山灰層）となり、雪解け水や雨水といった無機むきの降水のみを溜め込んでいます。

池の縁にはモウセンゴケが群生し、湿地の周囲には高さ1~2mの低い常緑針葉樹であるハイマツの群落がみられます。さらに奥には高さ20mを超すオオシラビソやコメツガといった山岳地帯特有であるマツ科の樹木が立ち並ぶ林へと繋がります。池を中心とした植生の遷移せんいは、原生林のままの姿を残しています。

